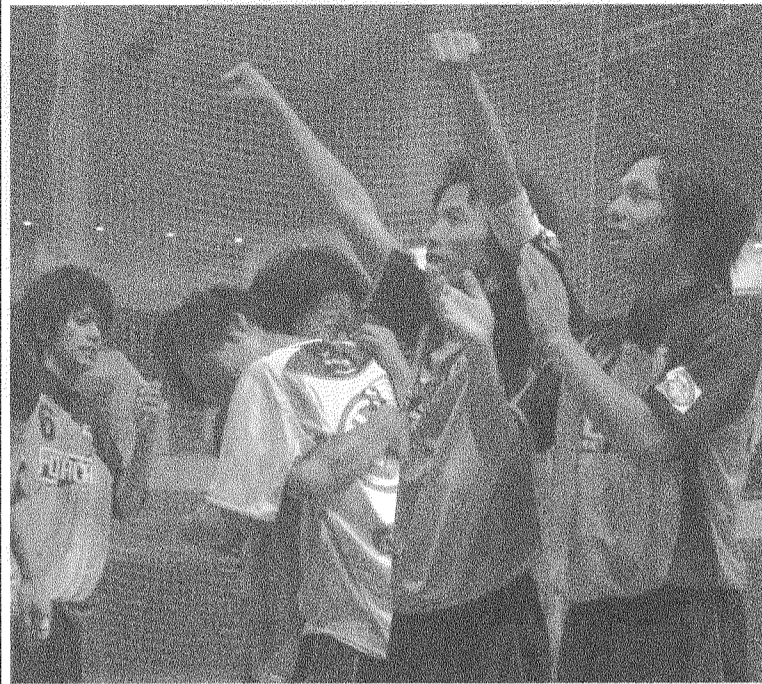


史上初の全国制覇

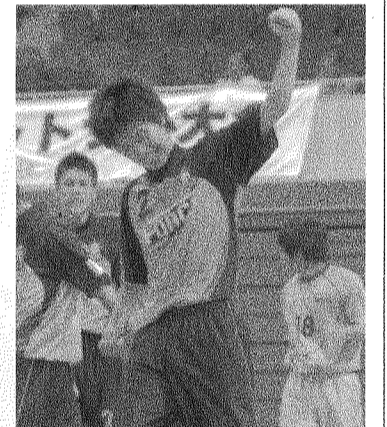
フットサル フォルサ悲願果たす つかんだ、大学ナンバーワン



フォルサが、悲願の大学日本一の座に輝いた(8月24日・舞洲アリーナで 撮影=深江友樹)

全日本大学フットサル大会2008決勝トーナメントが8月24日、大阪・舞洲アリーナで行われた。神戸大が史上初の全国制覇を挙げた。これにより、フォルサは大学代表として今年度全日本フットサル選手権に出場する。

チーム全員が一丸となってつかんだ栄光だった。決勝の福山大サッカー部戦。ファイナルという舞台には、意外なほどのワンサイドゲームだった。フォルサのプレスが面白いように機能し、福山の守備にも粘りがなかった。A東中(経営・3年)も腰を打撲し、動けず痛みに苦しむ。B小中(経営・4年)の左足は内出血でどうも腫れていた。スタッフ陣も連日、スカウティングとビデオ分析でほとんど寝ていなかったという。試合直前に使用ユニフォームが変更



喜ぶB田代(8月24日・舞洲アリーナで 撮影=深江友樹)

の頂に到達した。チームにはケガ人が続出していた。東中主将の左ヒザはテーピングで固められ、B中島(農・3年)も腰を打撲し、動けず痛みに苦しむ。B小中(経営・4年)の左足は内出血でどうも腫れていた。スタッフ陣も連日、スカウティングとビデオ分析でほとんど寝ていなかったという。試合直前に使用ユニフォームが変更

され、マネージャーらはユニフォームの準備に奔走した。フォルサ関係者や神戸大生が多数駆け付け、声を枯らして応援した。「これだけ周りの支えを感じてプレーできたのは初めて」と小中が話せば「みんなに支えられてその優勝(とB田代(経営・4年)「僕ら、最高のチームです」田代はそう語って会場を後にした。【深江友樹】

京大に完敗 負傷でプラン狂う

関西学生アメリカンフットボールリーグ、神戸大が9月23日、エキスポフィールドで行われた。神戸大は京大の守備を崩せず、3-23で敗れた。1勝敗。リーグ開幕戦で関大相手に9年ぶりの白星を挙げ、絶好のスタートを決めたかに見えた神戸大は、戦目をつまずいた。第2Q3分、0-7。一矢報いようと、ラン攻撃を試みたエースQB大原(経済・4年)が早大ディフェ

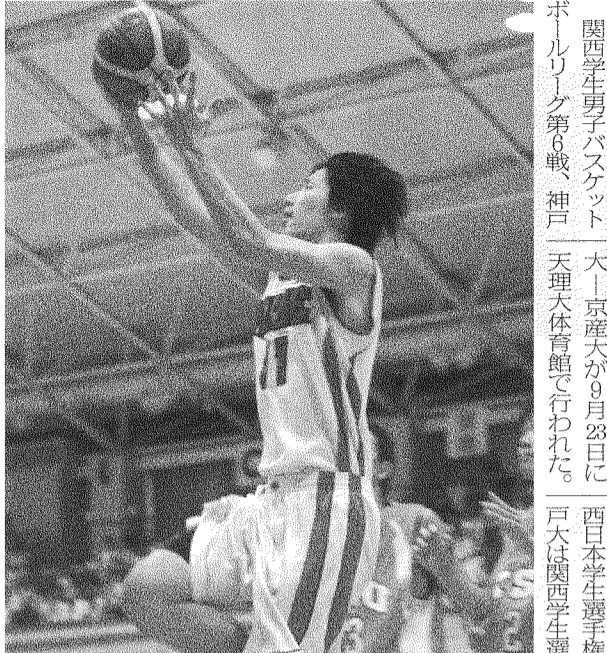
ンスのタックルで頭部を強く打。負傷退場し、急ぎや2番手QBの東野(工・3年)が万博のヒッチに立った。指揮官は勝つべくして練習したランの攻撃を余儀なくされた。しかし、急遽チームは京大守備陣に通用しなかった。2年生QBは試合に出る覚悟はあったが、突然の起用で混乱した。4回のインターセプトを許し、反撃のチャンスを通し、大原さんの代わりを果たせなかった。東野は淡々と話す。京大に得意を次々と許す一方で、神戸大の得点は第3Q8分のK阪本によるFGだけ。「正直勝てる相手だった」。試合後、安井ヘッドコーチは悔しさを露わにした。



頭部を強打し、負傷退場したQB大原(9月23日・エキスポフィールドで 撮影=西田健悟)

「現実的な目標は降格圏脱出。意地を見せて上位陣に食らいきたい」と(主将)。神戸大は早くも正念場を迎えた。【深江友樹】

止まらぬ快進撃 インカレも見えたで 男子バスケ



第4Q。ゴール下のC蔵田(9月23日・天理大体育館で 撮影=濱田直毅)

関西学生男子バスケットボールリーグ第6戦、神戸大が9月23日、天理大体育館で行われた。神戸大は関西学生選手権王者を東征した。これにより、フォルサは大学代表として今年度全日本フットサル選手権に出場する。

の京産大に第4Qで逆転。72-70で勝利し、成績を4勝0敗とした。雲の上の存在だった京産大に手が届いた。残り5秒。C西田(国文・4年)がフリースローを沈めると、京産大に反撃する力は残っていなかった。試合終了を告げるブザーが鳴ると、選手たちはお祭り騒ぎ。僕の中で京産大が一番強いと思った。信じられない」と普段は冷静な立山コーチも興奮を抑えられなかった。7点を追う状況で第4Qに突入した。それまでは一転してゾーンディフェンスを敷くと、京産大の攻撃は沈黙。高さを誇る神戸大はC蔵田(経済・4年)と西田、C蔵田(国文・4年)

もっと遠くへ!



三段跳び
大野(法・4年)
国立競技場で9月12日に行われた第77回日本学生陸上競技対抗選手権大会(全日本インカレ)の男子三段跳びで大野翔梧(法・4年)が出場した。8月16日の試合で陸上部の最高記録となる15メートル51センチで優勝。自己記録を56センチ更新、全日本インカレのA標準記録を1センチ超えた。初めての大会では自身2番目の記録となる15メートル03センチをマークした。だが入賞には至らず26位。勝負させてもらえなかった。常に15メートル台を跳る力をつけ、今回の雪辱を果たすことが目標だ。【伊崎春樹】

長身トリオがゴール下を完全に支配し、逆転につなげた。3日前には関西学生選手権で準優勝の大院大も大差で破った。全日本大学選手権大会(インカレ)に出場できるのは上位5チームまで。司令塔のG堀江(理・4年)はこの勢いで強気で最後まで攻めきると力をつめた。残り5秒。神戸大旋風は止まらない。【濱田直毅】

三バウンドを拾った蔵田は胸を張った。3日前には関西学生選手権で準優勝の大院大も大差で破った。全日本大学選手権大会(インカレ)に出場できるのは上位5チームまで。司令塔のG堀江(理・4年)はこの勢いで強気で最後まで攻めきると力をつめた。残り5秒。神戸大旋風は止まらない。【濱田直毅】

阪南大との初戦落とす リーグ戦初黒星

近畿学生野球秋季リーグ第3節1回戦、神戸大が阪南大との初戦を落とし、リーグ戦初黒星を喫した。阪南大が9月20日に南港中央野球場で行われた。神戸大はエース安井(経営・4年)が力投するも、1-5で敗北。今季初の黒星を喫した。強の一角から勝利を奪うことはできなかった。奈産大と常に優勝を争っている阪南大から7安打するも、1得点止まり。打線にあと二打が出ず、守備でもエースを援護できなかった。



失点を許し、呆然とする安井(9月20日・南港中央野球場で 撮影=濱田直毅)

阪南大が9月20日に南港中央野球場で行われた。神戸大はエース安井(経営・4年)が力投するも、1-5で敗北。今季初の黒星を喫した。強の一角から勝利を奪うことはできなかった。奈産大と常に優勝を争っている阪南大から7安打するも、1得点止まり。打線にあと二打が出ず、守備でもエースを援護できなかった。

結局、2つの失策が原因で阪南大に勢いを与える失点につながった。「3回のエラー絡みの2点が痛い。安井は期待通りの投げてくれたのに」。中村監督は肩を落とした。現在、神戸大は3勝敗1分で勝ち点。(9月20日現在)【濱田直毅】

「現実的な目標は降格圏脱出。意地を見せて上位陣に食らいきたい」と(主将)。神戸大は早くも正念場を迎えた。【深江友樹】

開幕連敗 男子ラクロス

2008年度関西学生男子ラクロスリーグ、神戸大が9月23日、宝ヶ池球場で行われた。先制された神戸大は、終盤に点を広げられ、2-8で敗北した。何度もゴールネットが揺れるのを、ただぼろりと眺めていた。「厳しいですね」。AT田中陽主将(経済・4年)が言葉を絞り出した。第1Qこそ0-1で折り返すも、守る時間が長かったことで守備陣の集中力が切れてしまった。第3Qを終えても点差。攻守が全くかみ合わず、反撃は試合終了間際の主将の一撃のみ。力果てた姿で、試合終了のホイッスルを聞いた。「現実的な目標は降格圏脱出。意地を見せて上位陣に食らいきたい」と(主将)。神戸大は早くも正念場を迎えた。【深江友樹】